

な取り組みを進めています。子育てについても、不安を感じたり、社会から孤立することがないよう、結婚・妊娠・出産・子育てを一貫して支援していく取り組みを進めており、特に最近産後ケアに力を入れています。

【伊吹さん・山本さんの活動】



伊吹 20世紀梨は明治に発見されたもので、レトロ、和風をテーマに描かせていただきました。

田中 キラリ★さがけ塾のポスターも手がけていらっしやいますよね。

伊吹 声をかけていただき良い経験をさせていただきました。また、私自身もキラリ★さがけ塾に参加して、自分の好きなことを楽しんで

ように踏み出されましたか。
中井 私の場合は計画的に動き始めたというよりは、周りに心配をされながら、自分の中にある「これをやりたい」という強い思いと勢いで進めていきました。



伊吹 私も、子どもの頃から絵を仕事にしたいという強い思いがあったので、その一心で会社員を辞めてこの仕事を始めました。自分の中の「これをしたい」という思いを大事にする、それを自分が受け入れてあげることが大切かなと思います。また、キラリ★さがけ塾に参加して、実際に自分の得意分野で活躍される人と出会い、一歩踏み出す勇気をいただいたのも大きかったです。

田中 想いの強い人がいて、そんな人たちがつながる場があることがきっかけになるんですね。鳥取市はいろいろなコミュニティがありますが、今日座談会でもまた新たなつながりが生まれそうですね。
山本 鳥取市にはものづくりをしている人がたくさんいらっしやと思うので、例えば、私がつ

る人がこんなにいるんだなと、とても刺激になりました。私が絵を描くことを仕事にするきっかけの一つになったと思っています。

田中 昨年からは鳥取市ともコラボされて、観光情報を発信するSNS「totto totto coffee」のキャラクターも手がけられるなど、本当にすてきなイラストで鳥取市の魅力を発信されていますよね。

伊吹 私自身鳥取市が大好きで、県外から友人が来たときに、楽しみながら各地を案内するんですが、絵を描くときも「鳥取市ってこんなにいるところだよ」という、自分のふるさとを自慢するような気持ちで描いています。

市長 伊吹さんの作品をあちこちで拝見しています。このポスターも、20世紀梨の歴史を感じさせるすばらしい作品だと思いますし、麒麟獅子などの作品もユーモラスでかわいらしいです。本市の魅力を発信していただいていることに感謝しています。

山本 4年前に、祖父母の家がある鳥取市の中山間地域に引越してきました。地域の行事でイノシシ肉を食べる機会があり、とて

た鴨の羽などでものを作れる人とつながれたら面白いと思います。



石原 今日の座談会がきっかけで、「私の周りでものづくりをしている人と講師さんがつながってできることがないかな」と頭の中でさっそく考えています。こうやってストーリーがなくなっていくことが本当にすげえと思います。

伊吹 猪の皮なんかも何かしらのグッズを作ったり再利用できたらいいですね。人がつながってアイデアを出し合えば、新しい、ここにしかない商品ができるかもしれないですね。



中井 親子で参加できる、ジビエを使った料理教室のイベントをするのも楽しそうですね。

市長 さまざまな分野で活躍している人がこうしてつながっていく、新しい価値が生み出されることで、このまちがさらに楽しくにぎやかになっていくと思います。

今年の抱負

石原 キラリ★さがけ塾は毎

もおいしかったんです。その時に「イノシシ肉を食べたいなら猟師にならどうか」と地域の人に言われて、それがきっかけで狩猟免許を取りました。

今、狩猟免許取得者が増えている一方で、農家さんのなかには有害鳥獣による被害で廃業寸前に追い込まれている人がいます。今後はそのマッチングができるような活動ができればと思っています。

また、今は在宅ワークでウェブデザインやプログラミング、オンラインでの家庭教師をしています。以前はあまり世間に浸透していなかった働き方ですが、コロナ禍以降は広く認知され、今後このようなスタイルの人も増えていくのではないかと思います。

市長 本市は「住みたい田舎ベストランキング」(宝島社「田舎暮らしの本」)で9年連続ベストテンに入っており、移住定住に適した地域として評価されています。



雪山で狩猟中の山本さん
昨年はイノシシと鹿を100頭以上捕獲

リモートワークやワーケーションにも適した場所だと思っていますので、今後さらにPRしていきたいと思っています。

また、有害鳥獣についてですが、近年は農作物への被害が増えており、令和2年度は被害額が3千万円を超えています。農業者が農業を続けていく意欲を減退させることにもつながる深刻な課題です。狩猟者の高齢化が進む中、これからは狩猟者を増やしていきたいと思っており、具体的な支援策の検討を進めていきます。

やりたいことばっか活躍していいのは？



山本 みなさんの活動を聞いて、多くの人の力を引き上げたり、自分も引き上げられたりという相乗効果を生み出していると思いました。私はこれから有害鳥獣駆除の分野で、新たな活動を始めたいと思っていますが、みなさんは初めの一步をどの

年、訪れた人や出店した人から大きな反響をいただいています。今の状況でもできる形で続けて、みなさんが集ったり新しいことを始められる場を作っていきたいと思っています。

中井 みなさんのお話を聞いて、つながりを作ることがとても大切なことだと感じました。今年は、「お母さんたちのコミュニティ」という枠をさらに広げて、地域や地元企業と一緒に、子育てを応援できるような形を作っていきたいと思っています。

伊吹 自分の中にある「創作を楽しみたい」という純粋な気持ちを保持して絵を描きたいと思っています。もちろん仕事として真剣に創作に取り組むんですが、自分の中の土台になっていく気持ちをもう一度思い返して、大切にしたいと思っています。

山本 こうして信念を持ってさまざまな活動をしている人に会えて、とても勇気づけられました。みんながつながり、お互いを高めあうような活動をしている人たちがこんなにもいるんだなと感じ、私もその一部になれるように活動をしていきたいと思っています。



座談会はいなびよんびよんネット(12ch)で放送します
日時：1月1日(土・祝)～4日(火) 12:00～、15:00～、18:00～ほか

市長 昨年、新型コロナウイルス感染症からの復興再生プランを策定し、市民のみなさんと明るい未来を切り開いていくためのスタートを切りました。今年はそれさらに具体的に進めていく年です。今日みなさんの話を聞いて、そのための力をいただきました。ありがとうございます。

※座談会の内容は要約しています